

# (別紙3) LNG燃料船「魁(さきがけ)」の概要

「魁」は、日本郵船株式会社が建造した、LNG(液化天然ガス)を燃料として使用可能なタグボート※1であり、LNG運搬船を除いてLNGを燃料とする船舶としては、外航船・内航船を通じて国内最初の船舶です。

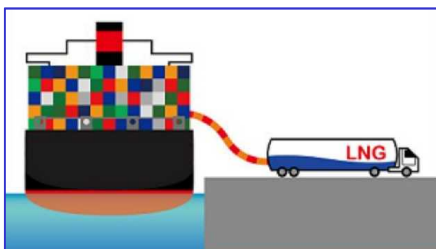
平成27年8月に竣工し、現在、横浜港において“Truck to Ship”方式によるLNG燃料の供給を受けながら、横浜港、川崎港にて運航中です。

※1. 小回りの効かない大型船の出入港時や離着岸の補助を行う船舶。曳船(ひきふね)とも呼ばれる。

## 【タグボート※1「魁」概要】

船主	日本郵船株式会社
全長	37.2m
全幅	10.2m
型深	4.4m
総トン数	272トン
主機	デュアルフューエル(LNGと重油双方に対応)

## 【“Truck to Ship”方式】



船舶へのLNG供給手法の一つ。  
LNG燃料船が、LNG燃料を供給可能な岸壁に着岸し、陸側LNGローリー車からLNG燃料の供給を受ける方法のこと。



「魁」全景